

地域福祉計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- ①コメント募集期間 平成29年2月1日（水）から2月25日（土） 25日間
- ②コメントの状況 有効提出数 : 2通
 提出方法別 : 窓口持参0通、郵送0通、FAX2通、Eメール0通
 コメント内容 2通／6件
 対象から除外したもの 0通
- ③パブリックコメントをもとに修正した箇所 1箇所

2. パブリックコメントの内容

No	基本目標等	コメントの内容	コメントに対する市の考え方	件数
1	第4章 重点プロジェクト 1 校区交流会議の支援とプログラムの実現	<p>市民一人一人が生き生きと生活できること、必要とされていると感じることが地域が元気になることだと思います。地域のことを自分のこととして考え、人と人のつながりで何かの形ができるように各機関と連携することはもちろん市民として協働できることはあると思います。</p>	<p>本計画では、「一人ひとりがその人らしい生き方を実現することのできる」ことを理念としており、人と人とのつながりは非常に大切なことと考えております。</p> <p>頂いたご意見は、4章 重点プロジェクト 1「校区交流会議の支援とプログラムの実現」の項に「地域のことを自分のこととして考え、」という記載を追加し、地域との協働・つながりづくりに努めてまいります。</p>	1

2	<p>第4章 重点プロジェクト</p> <p>3 誰もがその人らしい生き方を 実現できる総合相談・総合支援</p>	<p>小学校区にある公立保育所や幼稚園に育ち、同じ小学校・中学校に通う幼な友達が地域と共に大きくなり、高齢になっても住み続けられる、そのような暮らし方が当たり前とっていました。保育所に入れない、幼稚園も休園する所があると聞いています。子育ての基盤がなくなるようで悲しくなります。富田林で子育てし、住み続けて良かったと思えるように「気軽に相談できる体制」をぜひ具体化して下さい。</p>	<p>本計画では、地域における総合相談・総合支援体制を重点プロジェクトの1つとしており、気軽に相談できる体制の構築は、非常に大切なことと考えております。</p> <p>地域でさまざまな生活課題や不安を抱えている人が、気軽に誰でも何でも相談できる地域の総合的な窓口として、コミュニティソーシャルワーカーによる「福祉なんでも相談」について、より身近な場所で気軽に相談できるよう取り組んでまいります。</p>	1
3	<p>第5章 個別施策の展開</p> <p>基本目標1 とともに支え、助け合う つながりをつくろう</p> <p>1. 支え合い・助け合い活動の推進</p>	<p>地域のつながりが希薄になってきているが小さい単位でのつながりを広めていってほしい。今は、高齢になっても就労していたり、時間に余裕がない人も多い。</p> <p>ボランティアも難しい点がある。</p> <p>しかし、地域の力をかりながら市として、責任をもつ町づくりが必要と思います。</p>	<p>地域福祉を推進する中で、地域のつながりは非常に大切なことと考えております。</p> <p>本計画では、生涯学習等を通じて地域に対する愛着を深めるとともに、地域の行事や活動などを、多くの住民に周知・啓発を図り、地域福祉活動等への参加の促進に努めてまいりたいと考えています。</p>	1
4	<p>第5章 個別施策の展開</p> <p>基本目標2 安全・安心に暮らせる地域をつくろう</p> <p>1. 安心・安全な住環境づくり</p>	<p>中・高校生の集まる場所がないのか、スーパーやコンビニなどに集まっている姿をみかけます。図書館など自由に落ち着いて集まったり勉強できる環境があればと思います。また図書館の駐車場は、車をとめにくいことが多く、図書館の中も狭く感じます。誰もがそれぞれの目的にそって、利用しやすい公共の建物や公園が整備されるように願っています、意見が出せるように仕組み作りをして下さい。</p>	<p>本計画は、地域福祉の推進について、目標とする理念と実現のためのしくみを示しています。その中で、市民が利用しやすい公共施設の整備は、地域福祉活動を活発化する上で、非常に大切なことと考えております。</p> <p>高齢者や障がい者、子育てをする人等に配慮し、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに基づく施設整備を進めるとともに、各種施設の適切な利用について、市民の理解を深めていきたいと考えております。</p>	1

5	<p>第5章 個別施策の展開</p>	<p>私も交通弱者になる日が近づいています。気づくとサバーファーム行きのバスがなく、いつでもいくつになっても行けるからと買った墓ですが、好きな時にお墓参りもできなくなりそうです。サバーファームの楽しみもなくなります。大切な公共施設であるはずで す。 買い物や病院、公民館への足も事欠きます。これでは、市民としての生活ができなくなります。公共交通は、「小型車で」「オンデマンドで」と他の市町村の話も聞きます。レインボーバスの運用と含めて公共交通について種々な検討をお願いします。</p>		1
6	<p>基本目標2 安全・安心に暮らせる地域をつくろう</p> <p>2. 移動手段の確保</p>	<p>国全体が少子高齢化が急速にすすみ、誰もが将来に不安をかかえる時代になっていると思います。 一人世帯が増え、若い時には感じなかった生活の不便さが特に高齢者の悩みとなっているでしょう。 自分が動ける間は、地域とのつながりや、買い物や病院、また趣味や娯楽ででかけて、楽しい時間を少しでもすごしたいと思います。 近所にスーパーがない、買い物に行けても少しでも重いものが持てないなど、日々の暮らしでさえ大変になっている人が多くいます。 地域でささえあうことも大事ですが、市として、小さいバスやタクシー券などの補助、移動スーパーなどを考えて欲しいと思います。</p>	<p>本計画は、地域福祉の推進について、目標とする理念と実現のためのしくみを示しています。その中で、移動手段の確保については、非常に大切なことと考えております。 本計画では、市役所や市内の公共施設への移動手段としての「レインボーバス」の運用により、市民の身近な移動手段を確保します。また、交通不便地域の移動手段の在り方についても検討してまいります。</p>	1